

今こそ新エネ!

NO.8

新エネルギーとは?

『今こそ新エネ』シリーズの第8回は、「太陽光発電」についてお知らせします。

太陽光発電とは

太陽光発電とは、太陽光パネルに当たった太陽の光を電気に変換するシステムで、ソーラー発電とも呼ばれています。太陽光発電は、天候に左右されるため出力は不安定で夜間は発電されませんが、電気代や二酸化炭素の削減などの効果があります。

システムの規模が大きくなると発電量も単純に比例して大きくなるため、家庭用から大規模施設まで、その施設にあったシステムを設置することができます。

世界の太陽光発電事情▶世界で設置されている太陽光発電の容量の合計は、平成16年で2,596MW（1MW=1,000kW）です。日本はそのうちの44%（1,132MW）を占める世界の太陽光発電の先進国です。世界の太陽光発電施設の設置容量は、近年、急速に増加しており、特に日本やアメリカ、ヨーロッパで高い伸び率を示しています。

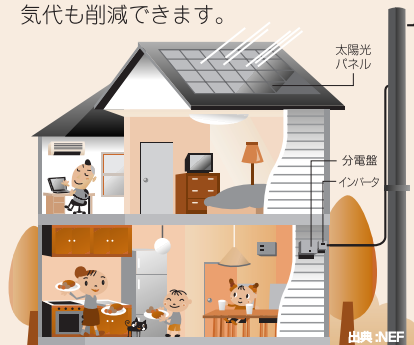
北海道における住宅用太陽光発電の導入▶北海道における住宅用太陽光発電施設の普及状況は、平成17年度で累計9,589kWとなっています。北海道電力(株)が住宅用などの太陽光発電の電気を購入している件数は、平成17年度末で2,907件です。北海道の「省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」では平成22年度までの導入目標として、太陽光発電を平成15年度の約30倍の25.3万kWに増加することとしています。

稚内市に大規模太陽光発電所建設

稚内市では、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの委託研究事業による大規模太陽光発電の実用化に向けた研究が平成22年度までの5年間行なわれ、声問地区に敷地面積14ha、約5,000kW（一般家庭約1,700世帯分）の日本最大級の太陽光発電所が建設される予定です。

■太陽光発電

太陽の光で自家発電。CO₂と一緒に、電気代も削減できます。



太陽光発電で家庭の電気の一部をまかない、余った電気は電力会社に売ることができます。

新エネルギーに関するお問い合わせは

総務課企画振興グループ ☎5-1111

萌える天北オロロンルート

「手をつないだらここが一番! 見えてきた」

- 萌える天北オロロンルートは、シーニックバイウェイ候補ルートです。
- 萌える天北オロロンルートの活動
菜の花とエゾカンゾウのタネまきをしました。春には花が咲きます。
- メインイベント
うまいよ! るもい市▶数の子や新巻鮭、各種水産加工品と留萌のうまい物が勢揃い!
日 時: 12月9日(日) 10時~
場 所: 留萌地方卸売市場
問合せ: うまいよ! るもい市実行委員会
留萌市農林水産課 ☎0164-42-1837

留萌管内イベント情報

11月11日(日) 3直市(小平町)
12月9日(日) うまいよ! るもい市(留萌市)

- 指定ルートへ向けて
指定ルート認定を目指し、これまで活動してきましたが、来春の審査へ向けて目下、準備中!
- 萌える天北オロロンルートブログ
ルート情報満載のブログは随時更新中です。
<http://fine.ap.teacup.com/moetenororon/>

お問い合わせ

萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局 〒077 0005 留萌市船場町2丁目J R留萌駅2階
☎0164 42 3871 FAX0164 42 3856 E-mail:tenpoku-ororon@moeru.fm